

2020年7月31日

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社
代表者名 代表取締役社長 畑 佳 秀
(コード番号 2282 東証第一部)
問合せ先 広報 I R 部 松 田 知 也
(T E L 06-7525-3031)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月11日の「2020年3月期決算短信」にて公表した2021年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

■2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値（2020年4月1日～2020年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	事業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する四半 期利益	基本的一株当 たり四半期利益
前回発表予想 (A)	580,000	13,000	13,000	9,500	92.31円
今回発表予想 (B)	580,000	16,000	17,000	12,500	121.45円
増減額 (B) - (A)	—	3,000	4,000	3,000	
増減率	—	23.1%	30.8%	31.6%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	616,266	21,832	14,963	10,331	100.39円

■2021年3月期通期連結業績予想数値（2020年4月1日～2021年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	事業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期 利益	基本的一株当 たり当期利益
前回発表予想 (A)	1,200,000	34,000	27,500	20,000	194.33円
今回発表予想 (B)	1,200,000	37,000	30,000	22,000	213.75円
増減額 (B) - (A)	—	3,000	2,500	2,000	
増減率	—	8.8%	9.1%	10.0%	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	1,229,826	43,772	27,039	19,214	186.70円

2. 業績予想修正の理由

〈第2四半期連結累計期間〉

新型コロナウイルス感染症の影響により、外食向けなどの業務用商品は厳しい状況にありますが、内食需要の高まりにより量販店向けの販売が伸長していることなどから、売上高は前回予想の水準となる見通しです。

利益につきましては、加工事業において、内食需要の拡大により主力ブランド商品の販売が好調に推移し利益率が改善したことに加え、食肉事業においても、国産鶏肉・国産豚肉の相場上昇により、生産部門が堅調に推移しました。こうした状況を踏まえ、今後の見通しを検討した結果、各段階利益において前回予想を上回る見込みです。

〈通期〉

第1四半期連結累計期間の業績動向及び第2四半期連結累計期間の見通しの修正を踏まえ、通期連結業績の見通しについても修正いたします。

以 上

〈将来に関する記述等についてのご注意〉

本プレスリリース資料に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、このプレスリリースに記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。